

IIXIL アーキキャスト ファンクション 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<照明付仕様での設置場所について>



注意

- 明るさセンサ側に障害物がないように取付けてください。障害物があると点滅を繰り返すことがあります。
- 昼間でも暗い場所への取付けをお避けください。早く点灯、遅く消灯することがあります。
- 夜間でも明るい場所への取付けをお避けください。点灯しないことがあります。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決められていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートは、速やかに拭取ってください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- DC12V内蔵トランスの電源工事およびAC100Vの照明器具は、D種接地工事を行なってください。
- 照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
- 照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を、インターホン子機用信号はVCTF0.75mm²のより線またはφ1.0単線2芯を、準備してください。
- 照明付きの場合には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないとランプ交換やお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
- 機器に接続する電圧、極性を間違えないでください。故障の原因になります。
- インターホン用配線に使用するY端子は、1.25-3を別途準備してください。
- 「入切スイッチ」にパイロットスイッチを使用すると、「入切スイッチ」をONにしても照明器具が消灯状態のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。

■ 梱包明細表

【1】 柱セット

名 称	略 図	員 数	
		ファンクション柱	FVM片受け柱
ファンクション柱		1	—
FVM片受柱		—	1
配線引き出し材		2	—
柱キャップ		1	—
[1-1]φ4×10ナベドリルネジ		4	—
[1-2]φ4×10サラタッピンネジ2種 D=6		1	—

【2】 センターブロックセット

名 称	略 図	員 数		
		センターブロック前IH付	センターブロック前IH加工なし	センターブロック後
センターブロック前IH付(右)or(左)		1	—	—
センターブロック前IH加工なし		—	1	—
センターブロック後		—	—	1
取付け裏板		16	16	—
ポスト蓋用戸当りゴム		1	1	—
【2-1】M5×10十字穴付六角ボルト(PW+SW)		8	8	—
【2-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		2	2	2
【2-3】φ4×10特サラ3種タッピンネジ D=6		—	—	6
【2-4】M4用六角ナット		2	2	—
取付説明書(A508)	—	1	1	—
配線取付説明書(A511)	—	1	1	—
取扱説明書(UA184)	—	1	1	—

【6】 サインセット

名 称	略 図	員 数			
		ガラスサイン	鋳物サイン	ステンレスサイン	ガラスサイン(特注)
ガラスサイン		1	—	—	1
鋳物サイン		—	1	—	—
ステンレスサイン		—	—	1	—

【3】 ポストセット

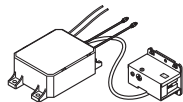
名 称	略 図	員 数	
		前入れ後ろ出し	前入れ前出し
ポスト前入れ後ろ出し		1	—
ポスト前入れ前出し		—	1
カールPCプラグ		4	—
スペーサー		4	—
【3-1】φ4.8×30木ネジ		4	—
【3-2】M5用平座金		4	—
取付説明書(A512)	—	1	1
取扱説明書(UA188)	—	1	1

※ポスト同梱のネジセットは使用しません。

【4】 インターホンスペーサーセット

名 称	略 図	員 数	
		インターホンスペーサーA	インターホンスペーサーB
インターホンスペーサーA		1	—
インターホンスペーサーB		—	1
インターホン固定金具		1	1
【4-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		2	2
【4-2】M4×30トラス小ネジ D=8		2	—
【4-3】M4×40トラス小ネジ D=8		—	2

【5】 DC12V内蔵トランス電源セット

名 称	略 図	員 数
内蔵トランス		1

■梱包明細表（つづき）

【6】サインセット（つづき）

名 称	略 図	員 数			
		ガラスサイン	鋳物サイン	ステンレスサイン	ガラスサイン(特注)
ネームシール	AAAA BB CCDD EEF GGHH IIIJ KKKL MM NNOO PP QRRS ST TUU VVVW XYYZ ...	2(※)	1	1	1
【6-1】M4用化粧ネジ		4	—	—	4
【6-2】M4×20ナベネジ(SW+PW)		4	—	—	4
【6-3】ゴムスペーサー L=6		4	—	—	2
【6-4】M4用ゴムワッシャー		4	—	—	4
【6-5】φ4×6トラスタッピンネジ3種 D=8		—	2	—	—
【6-6】M4用六角ナット		—	—	4	—

※黒文字と白文字の2種類同梱しています。

【7】ファンクションアクセントパネル枠セット

名 称	略 図	員 数			
		t=2用		t=4用	
		T12	T14	T12	T14
アクセントパネル横外枠		2	2	2	2
アクセントパネル横内枠		2	2	2	2
アクセントパネル縦枠 H12(L=573.4)		2	—	2	—
アクセントパネル縦枠 H14(L=773.4)		—	2	—	2
グレチャン2mm H12縦(L=572.4)		2	—	—	—
グレチャン2mm H14縦(L=772.4)		—	2	—	—
グレチャン2mm横(L=278)		2	2	—	—
グレチャン5mmフェンス H12縦(L=572.4)		—	—	2	—
グレチャン5mmフェンス H14縦(L=772.4)		—	—	—	2
グレチャン5mm横(L=278)		—	—	2	2
【7-1】φ4×10サラ タッピンネジ 2種 D=6		4	4	4	4
【7-2】M5×10 トラスタッピンネジ		8	8	8	8

【8】ファンクションパネル アクセントパネル本体

名 称	略 図	員 数			
		FAA型	FAP型	FAS型	FAR型
アクセントパネルFAA型 (アクリル t=5)		1	—	—	—
アクセントパネルFAP型 (ポリカ t=5)		—	1	—	—

【8】ファンクションパネル アクセントパネル本体（つづき）

名 称	略 図	員 数			
		FAA型	FAP型	FAS型	FAR型
アクセントパネルFAS型 (SUS t=2)		—	—	1	—
アクセントパネルFAR型 (パンチングレース t=2)		—	—	—	1

【9】ファンクションパネル 鋳物パネルセット

名 称	略 図	員 数
鋳物パネル (FAY, FAK, FAT)		1
【9-1】M5×10トラスタッピンネジ		8

【10】フェンス固定部品セット

名 称	略 図	員 数
フェンス取付金具		4
【10-1】M5×10トラスタッピンネジ		4
【10-2】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		8
取付説明書(C397)	—	1
取扱説明書(UC009)	—	1

※ファンクションパネル 鋳物パネルセット使用時【10-2】は使用しません。

※ファンクションアクセントパネル枠使用時【10-1】は使用しません。

【11】センターブロックカバーセット

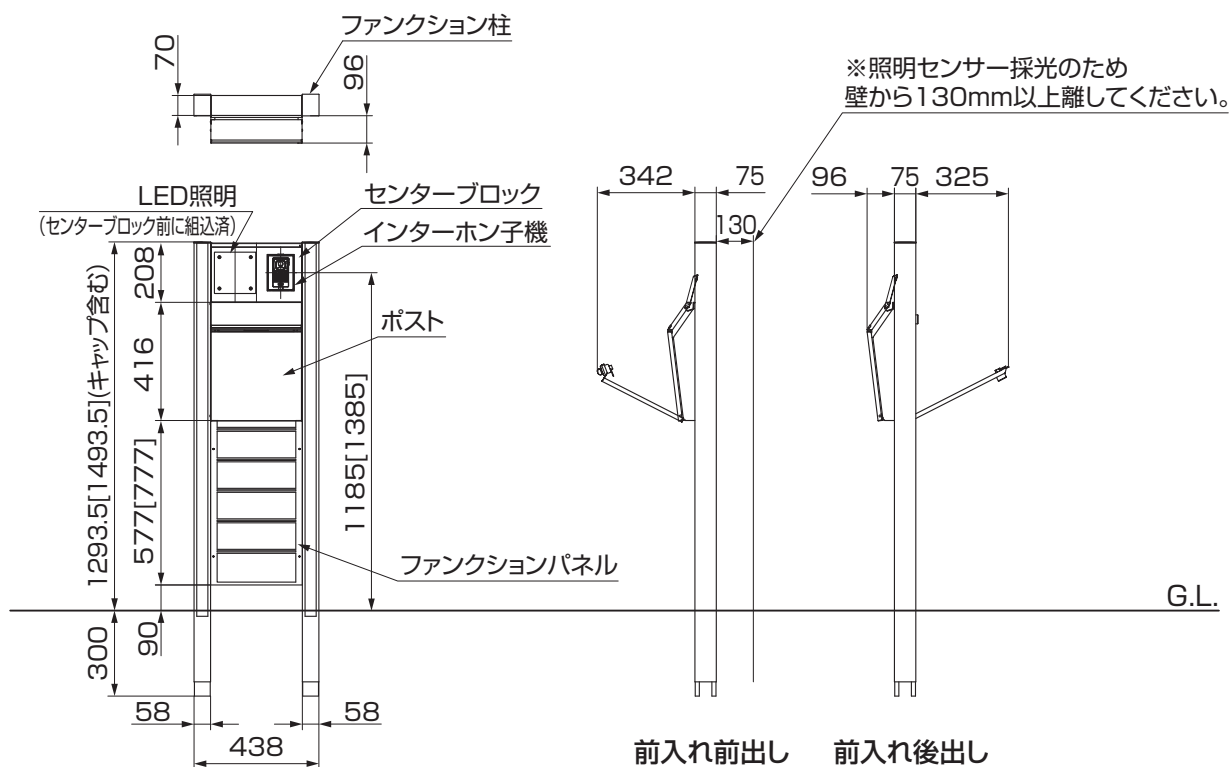
オプション

名 称	略 図	員 数	
		センターブロック カバー IH付	センターブロック カバー IH加工なし
センターブロックカバー IH付		1	—
センターブロックカバー IH加工なし		—	1

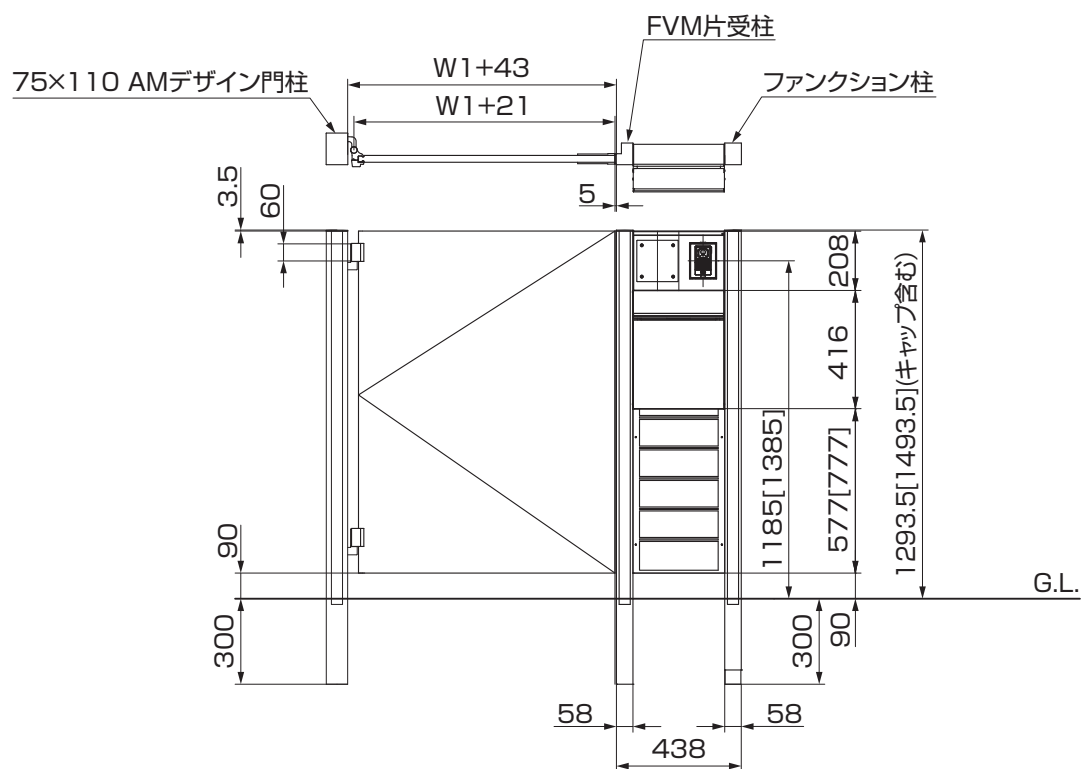
1. 各部の名称および基本寸法図

※[]はT-14の場合の寸法です。

1-1 独立仕様

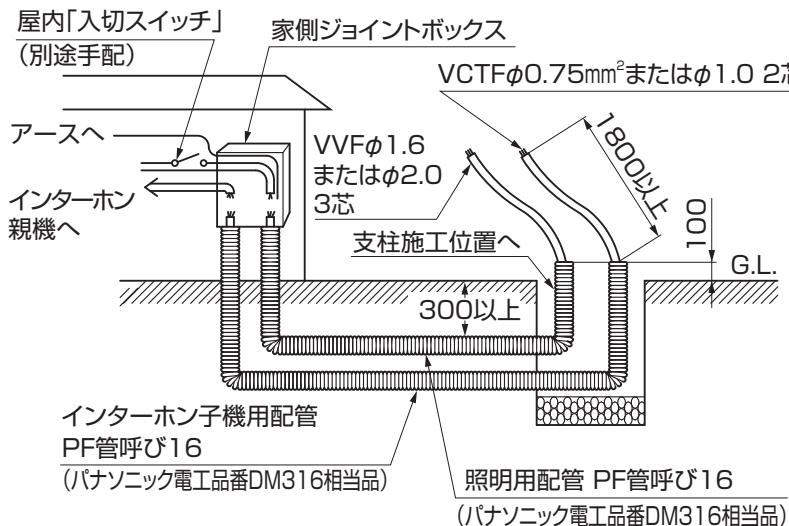


1-2 門柱仕様



2. 基礎工事と配線

2-1 配線工事



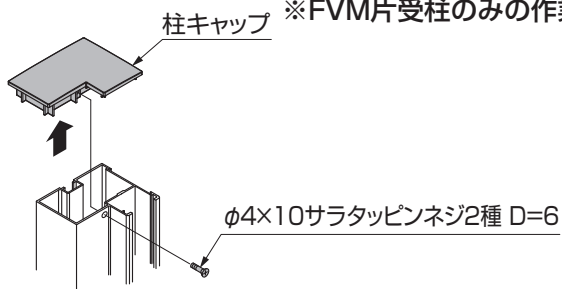
①基礎穴を掘り、栗石を敷いてください。

ポイント

- 配管はG.L.より100mm程度立上げ、パテ埋めなどの処理を施してください。
- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできなくなります。

②照明およびインターホン子機用の配線配管を敷設しておいてください。

2-2 キャップの取外し ※図は外観右の柱を示します。 ※FVM片受柱のみの作業です。

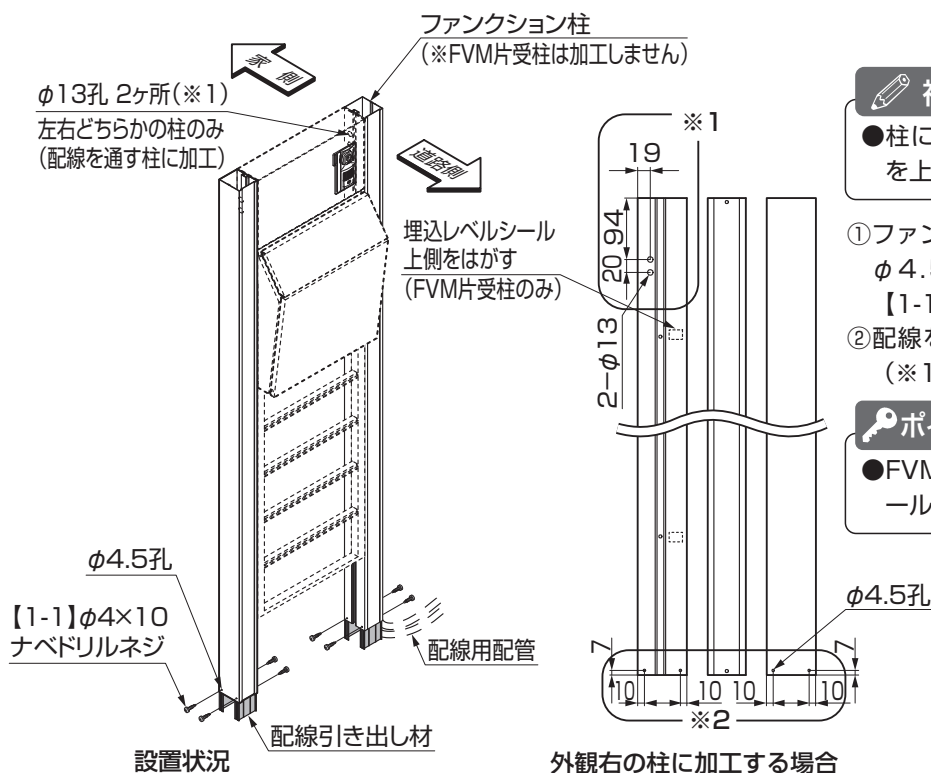


①柱から柱キャップを取り外してください。

ポイント

- 柱キャップは上下とも取り外してください。柱キャップを付けたままでは部品の組立てができなかったり埋込み深さに影響が出ます。
- 柱キャップ、ネジは後で使用しますのでなくさないでください。

2-3 柱の加工、組立て準備



補足

- 柱には左右がありませんので片方の柱を上下逆にして使用してください。

①ファンクション柱の埋め込む位置(※2)に $\phi 4.5$ の孔をあけて配線引き出し材を【1-1】で取付けてください。

②配線を通す側のファンクション柱の上部(※1)に $\phi 13$ の孔をあけてください。

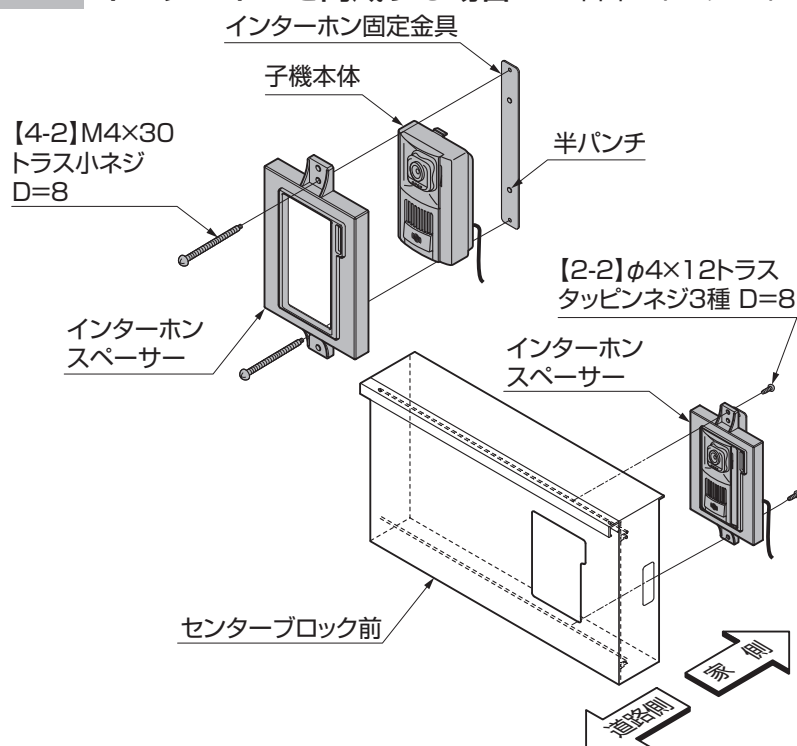
ポイント

- FVM片受柱のみ柱上側の埋込レベルシールをはがしてください。

3. 本体の取付け

3-1 インターホンを内蔵する場合

※本図はインターホンスピーサーAの場合を示します。

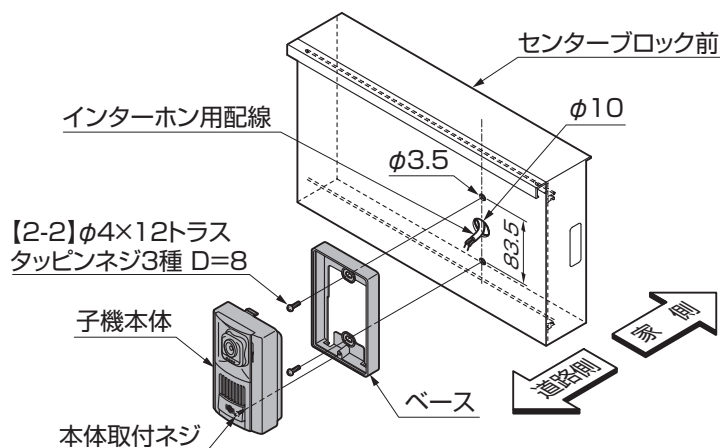


- ①【4-2】または【4-3】でインターホンスピーサーと子機本体をインターホン固定金具に取付けてください。
- ②【2-2】で①をセンターブロック前に取付けてください。

ポイント

- インターホン取付けの前にカメラ位置を調整してください。
- インターホン固定金具の半パンチを子機本体の孔に合わせ位置を決めてください。
- 【4-1】は使用しません。

3-2 インターホンを露出する場合

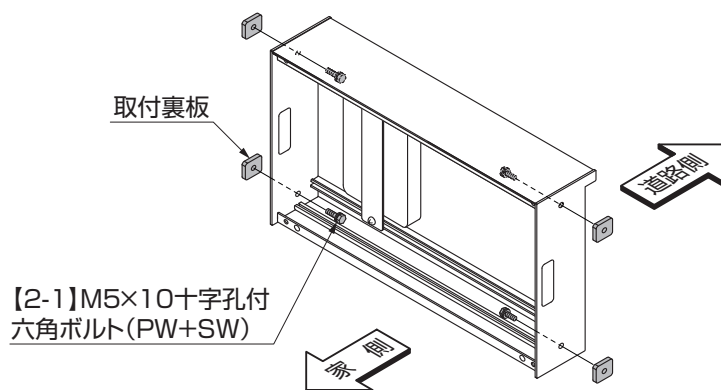


- ①センターブロック前正面に配線用孔φ10、取付孔φ3.5をあけてください。

ポイント

- インターホン取付高さはセンターブロック前取付面の中心より上方に取付けてください。
- ②ベースをセンターブロック前に【2-2】で固定してください。
 - ③インターホン子機の取付けおよび配線をインターホン子機の取付説明書を参照して行なってください。

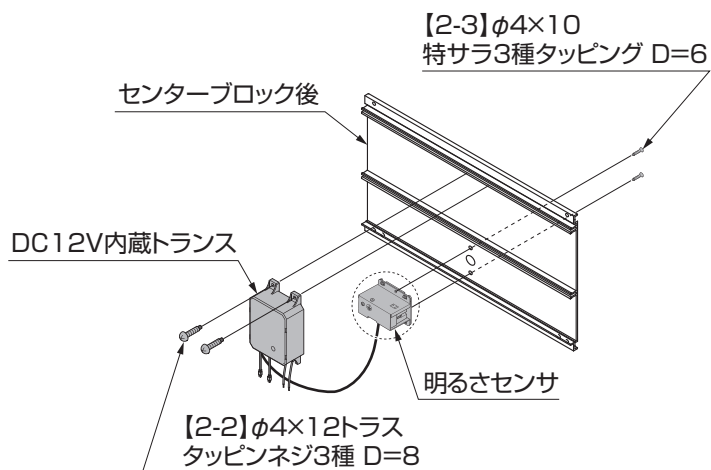
3-3 センターブロック前の取付け準備



- ①【2-1】でセンターブロック前に取付裏板を仮付けしてください。

3. (つづき)

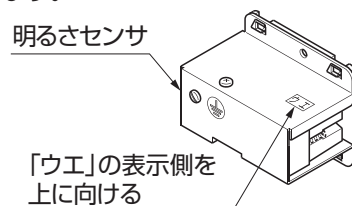
3-4 DC12V内蔵トランスの取付け



- ①【2-3】で明るさセンサを取付けてください。
- ②【2-2】でDC12V内蔵トランスを取付けてください。

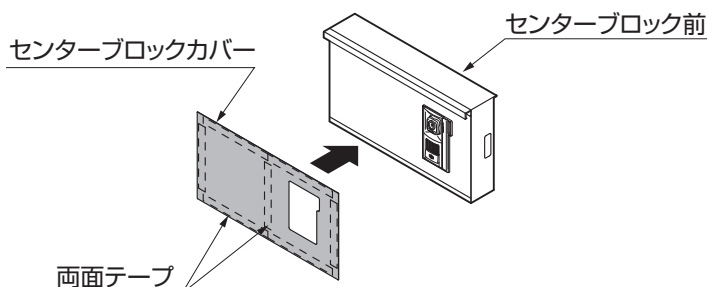
ポイント

- 明るさセンサには上下があります。必ず配線引き出し側を下に向けて取付けてください。反対に取付けた場合、センサ故障の原因になります。



- DC12V内蔵トランスは、インターホンの位置に合わせて、取付ける位置を決めてください。

3-5 センターブロックカバーの取付け オプション



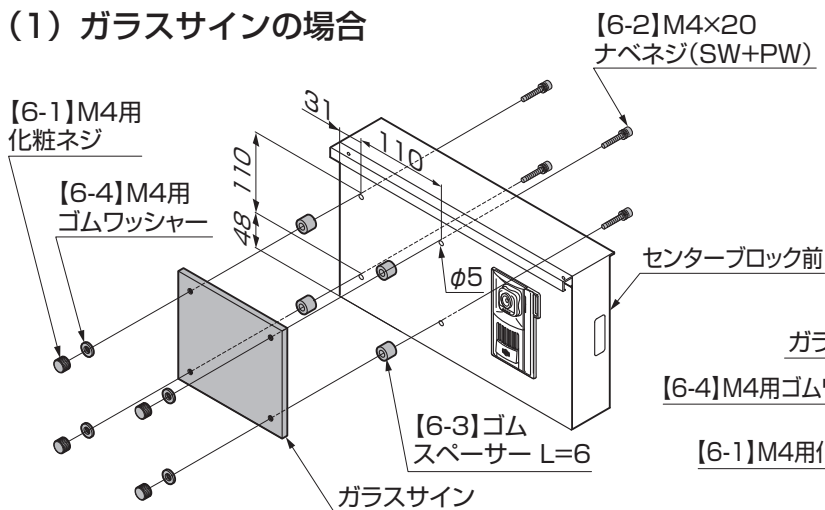
- ①センターブロックカバーの裏に付いている両面テープで、センターブロックカバーをセンターブロック前に貼付けてください。

ポイント

- センターブロックカバーを貼り付ける部分に汚れや水分などが無いことを確認してください。汚れや水分などがある場合、テープが貼り付きにくくなります。
- センターブロックカバーをセンターブロック前に取付けた後、センターブロックカバーの全周を親指でしっかりおさえ、テープが貼り付くようにしてください。

3-6 サインの取付け

(1) ガラスサインの場合



- ①図にしたがい $\phi 5$ 取付け孔をあけてください。
- ②【6-1】、【6-2】、【6-3】、【6-4】でガラスサインを固定してください。

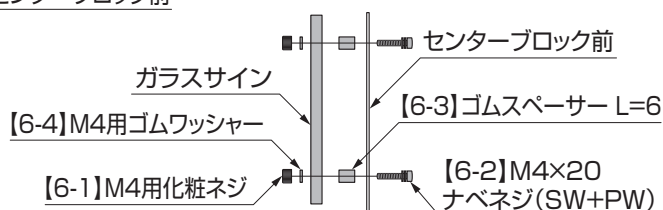


図3-1 側面図

(2) 鋳物サインの場合

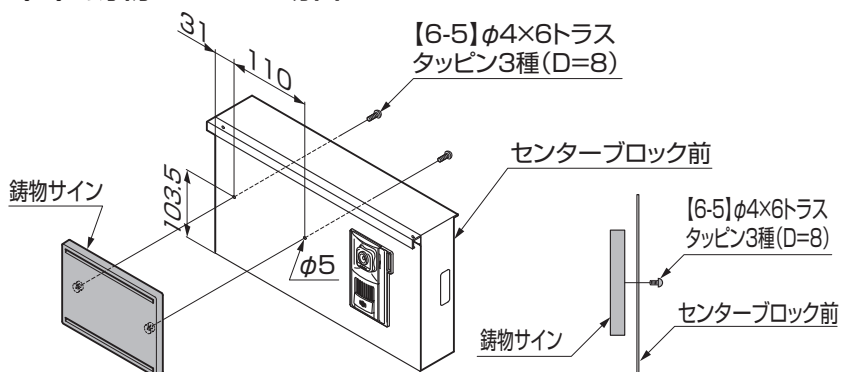


図3-2 側面図

- ①図にしたがいφ5取付け孔をあけてください。
- ②【6-5】で鋳物サインを固定してください。
- ③フロントカバーを取付けてください。

(3) ステンレスサインの場合

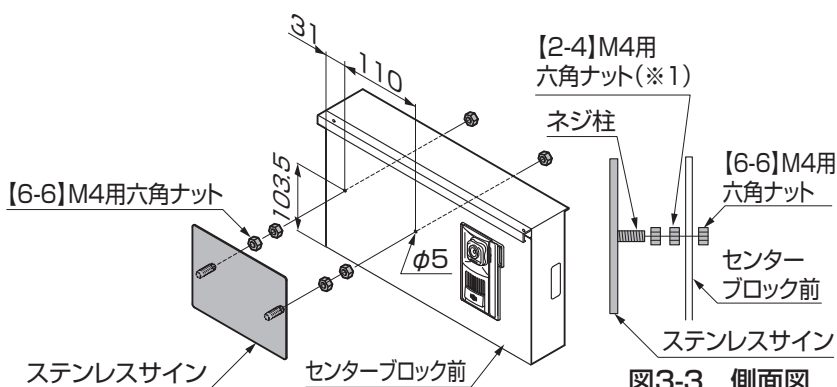


図3-3 側面図

- ①図にしたがいφ5取付け孔をあけてください。
- ②【6-6】でステンレスサインを固定してください。

補足

- ステンレスサインに同梱されている【6-6】と、センターブロック前に同梱されている【2-4】を合わせて使用してください。
- センターブロックカバー使用の際は【2-4】2個は取付けしないでください。(※1)

3-7 ポストの取付け

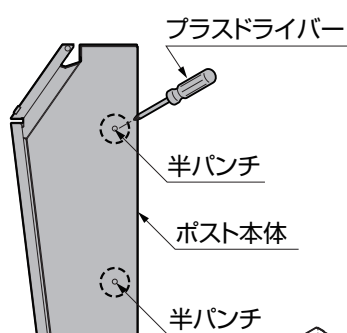
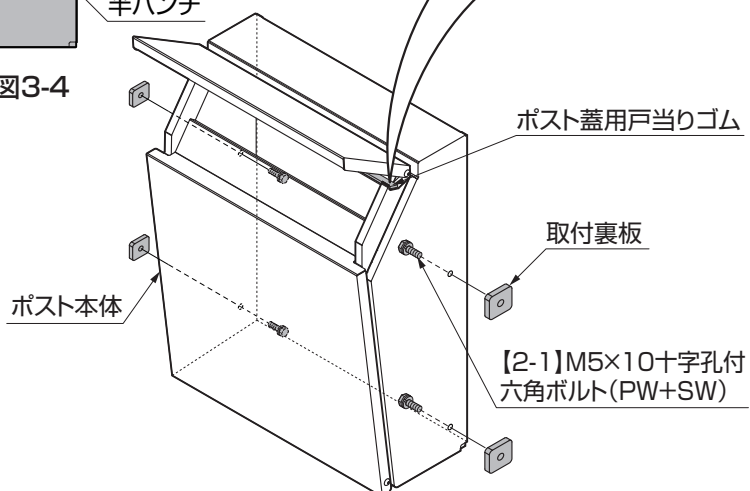
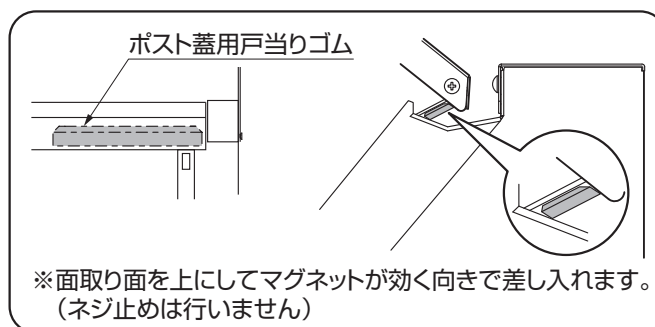


図3-4



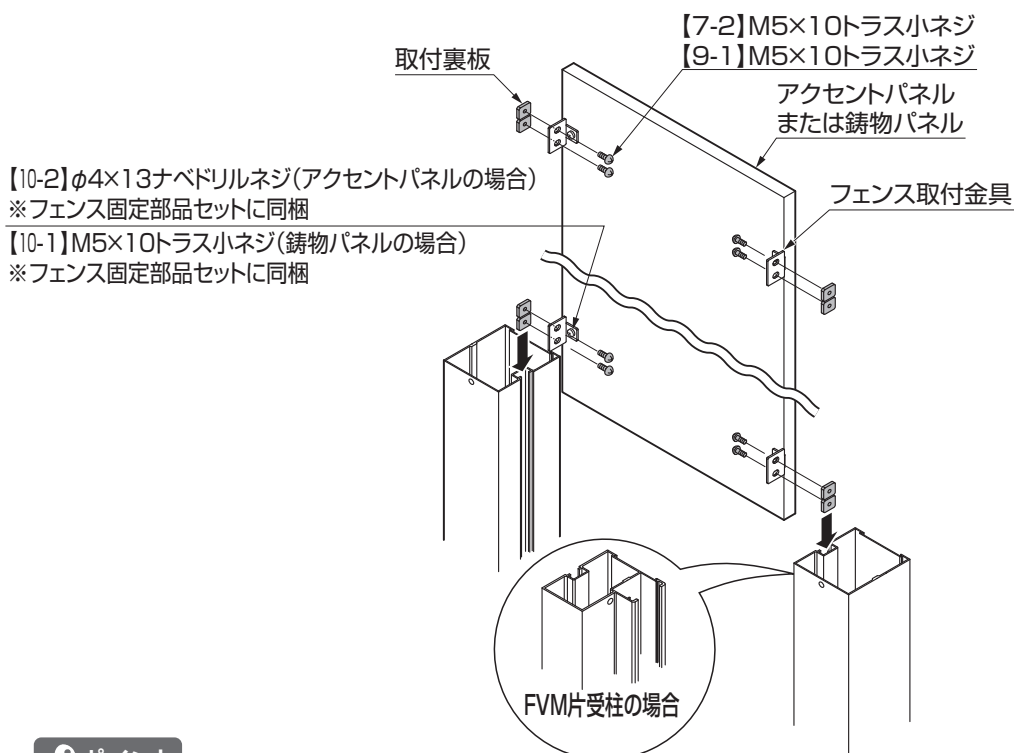
- ①ポスト本体の側面各2ヶ所の半パンチにプラスドライバーをあて、ハンマーなどでたたいて孔をあけてください。(図3-4参照)
- ②【2-1】でポストに取付裏板を仮付けしてください。
- ③ポスト蓋用戸当りゴムを図の位置に装着してください。

ポイント

- ポスト蓋用戸当りゴムはインターホンまたはサインの飛び出しの大きい側に装着してください。

3. (つづき)

3-8 ファンクションパネルの取付け ※図はアクセントパネル、または鋳物パネルの場合です。

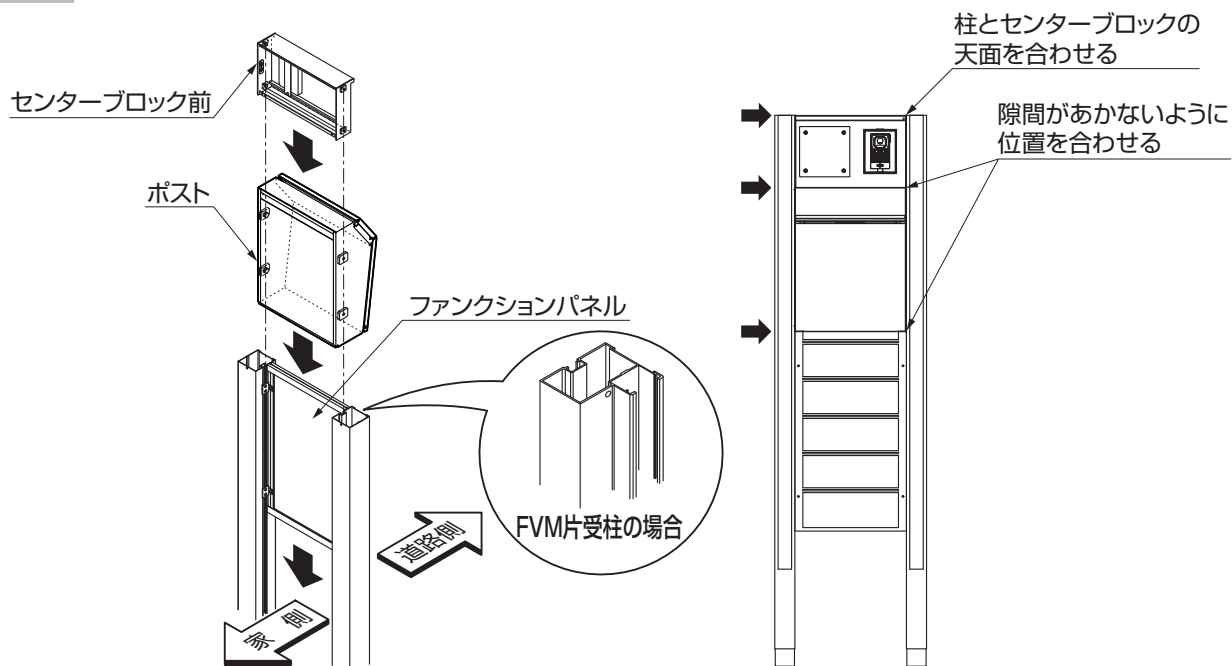


ポイント

●アクセントパネルの場合、C397「アーキキャストフェンス 3.アクセントパネルの取付け」を参照して、アクセントパネルを組立ててください。

- ①フェンス取付金具と取付裏板を【7-2】または【9-1】で仮組し、柱の溝に入れて仮固定してください。
- ②アクセントパネルまたは鋳物パネルを【10-2】または【10-1】でフェンス取付金具に取付けてください。

3-9 ファンクションパネル、ポスト、センターブロック前の組付け

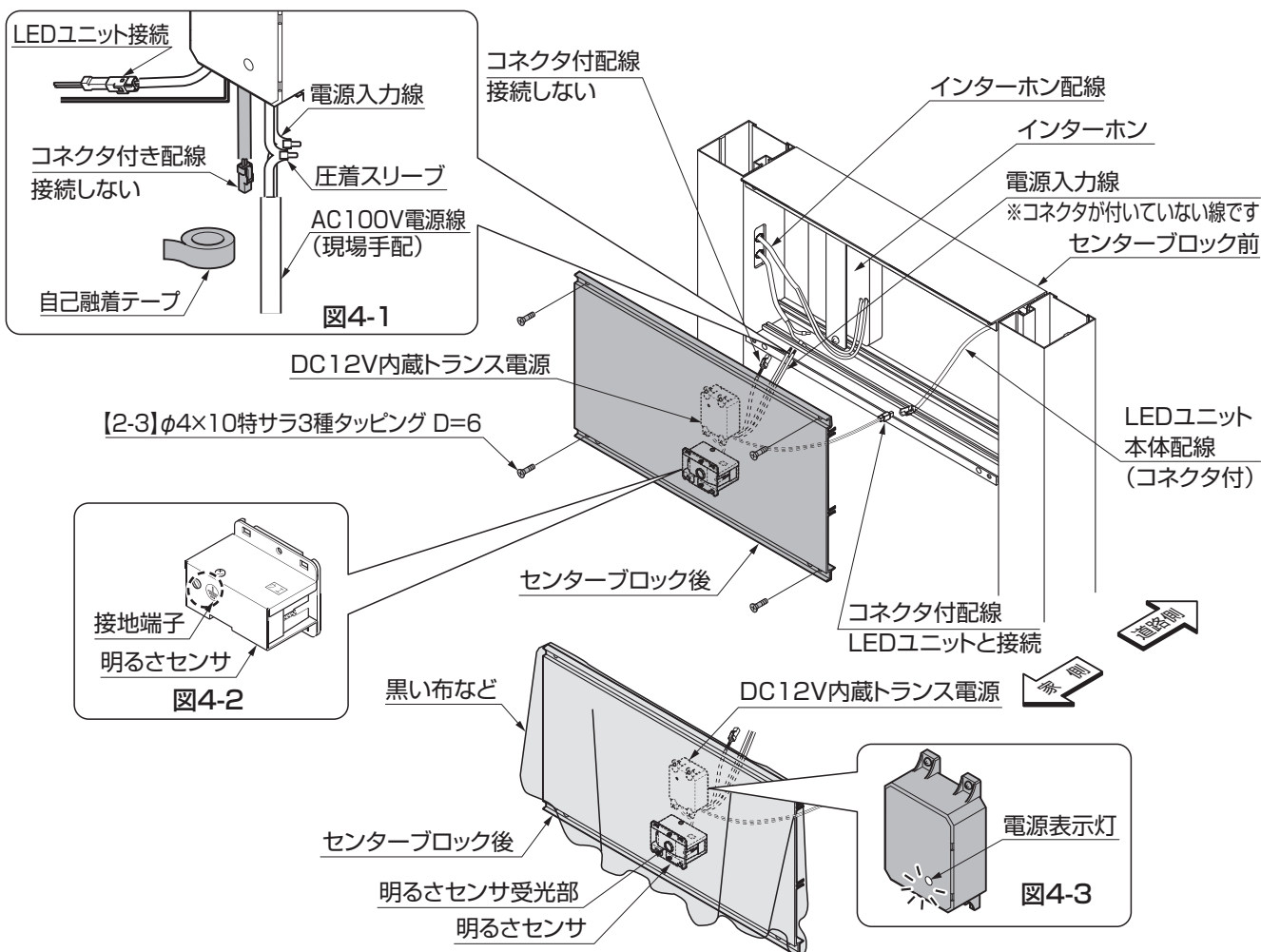


- ①柱の溝にセンターブロック前、ポスト、ファンクションパネルを相互に隙間があかないように位置を合わせ、取付裏板をスライドさせ【2-1】、【7-2】または【9-1】を締めてしっかりと固定してください。

4. インターホン・照明の結線

※図はインターホン付(右)〔照明左〕の場合です。
インターホン付(左)〔照明右〕は左右が逆となります。

※AC100V電線の配線工事に関しては、
電気工事店の有資格者に依頼してください。



- ① 結線する配線を柱内からセンターブロック前に引込んでください。
- ② インターホン子機の取付説明書を参照してインターホンの配線をしてください。
- ③ LEDユニット本体の配線をDC12V内蔵トランスのコネクタ付き配線(2本のいずれか)と接続してください。
- ④ AC100V電源線を内蔵トランスの電源入力線に接続してください。(図4-1参照)
- ⑤ 接続しないコネクタ付き配線は、防水テーピング処理を施してください。(図4-1参照)

ポイント

- コネクタ付きの線はDC12V出力線です。AC100Vを接続しないでください。

警告

- 配線接続部は圧着スリーブで確実に、自己融着テープなどで防水テーピングを施してください。(図4-1参照)
不完全な場合、絶縁不良による火災・感電の原因になります。
- 明るさセンサ部の接地端子ネジからD種接地工事を行なってください。(図4-2参照)
接続が不完全な場合、感電・火災の原因になります。

- ⑥ [2-3]でセンターブロック後を取付けてください。

補足

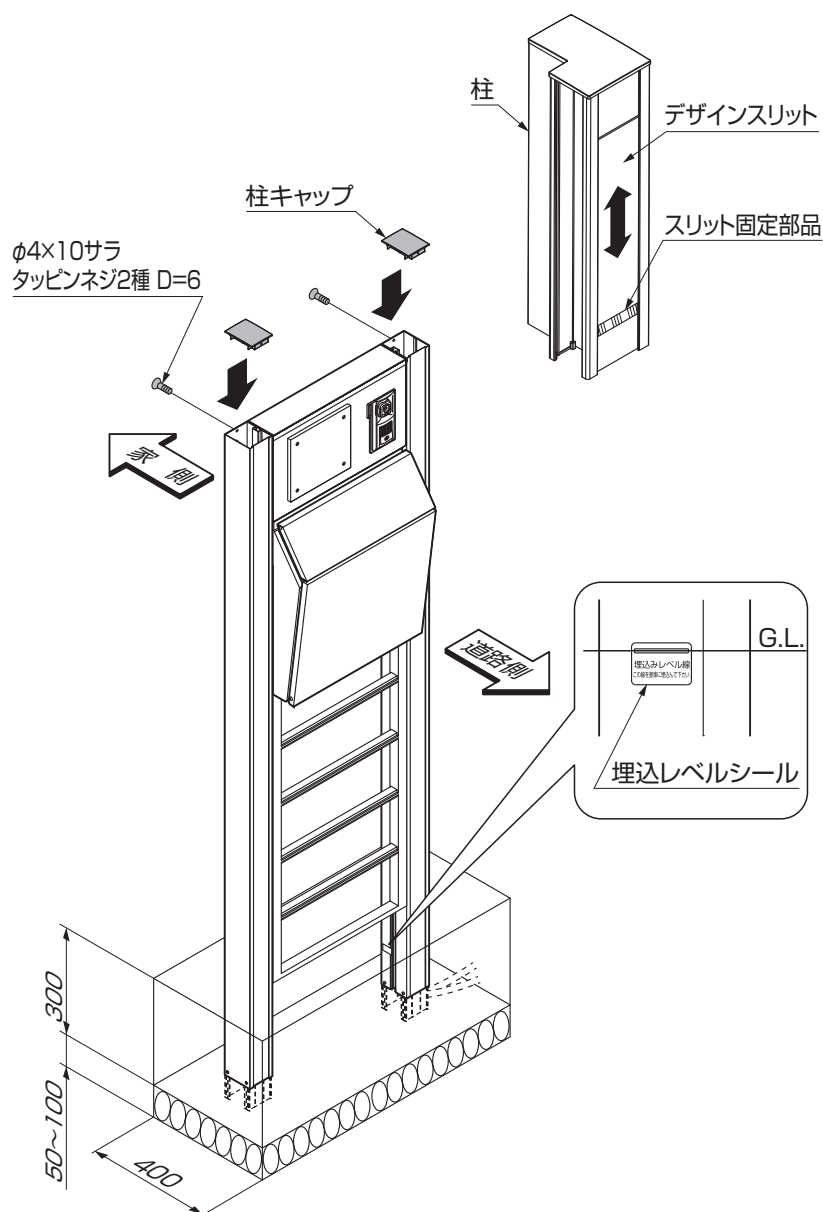
- DC12V内蔵トランス電源は明るさセンサを装備しています。接続した照明は、周囲が暗くなると点灯し、明るくなると消灯します。深夜、消灯したい場合は、屋内の入切スイッチを切にしてください。
- 昼間、通電確認する場合は、センターブロック後ごと明るさセンサ受光部を黒い布などでふさいでください。電源表示灯が点灯すればDC12Vが正常に出力しています。(図4-3参照)

5. 片錠受けの取付け ※門柱仕様の場合

ポイント

●A502「DSC錠」、A503「CF錠」の取付説明書を参照してください。

6. 柱の埋込み



①「2.基礎工事と配線 2-2キャップの取外し」で外しておいたキャップを柱に取付けてください。

②デザインスリットを上側のキャップにあたるまでスライドしてください。

補足

●デザインスリットと門柱の間にあるスリット固定部品がはずれた場合は、元のとおりに差し込み直してください。

③垂直が出ていることを確認し、埋込レベルの高さでモルタル固定してください。

取説コード

A508

JZZ619933F
201002A_1042
201607H_1049